

IEEE Student Branch Leadership Training Workshop 2022 報告書

早稲田大学 Student Branch 陳 志宇

2022 年 11 月 18 日(金)から 11 月 19 日(土)まで沖縄・那覇で行われた IEEE Student Branch Leadership Training Workshop 2022 に参加しましたので、その報告を致します。

1. 会議概要

IEEE Japan Council Student Activities Committee (JC-SAC)では、毎年 1 度、全国の Student Branch の役員が集まり、今までの活動や今後の方針についてディスカッションをする機会として IEEE Student Branch Leadership Training Workshop (以下、SBLTW)を開催しています。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響により、2019 年を最後に対面で開催することができませんでした。

本年は約 3 年ぶりに、琉球大学と青山学院大学 Student Branch の協力の下、SBLTW2022 を沖縄・那覇で開催することになりました。

参加ブランチは 21 ブランチあり、以下に参加ブランチの詳細を記します。

会津大学、青山学院大学、大阪大学、関西大学、熊本大学、千葉商科大学、中央大学、東京大学、東京農工大学、東京理科大学、東北大学、徳島大学、名古屋大学、広島支部、広島市立大学、北海道大学、室蘭工業大学、明治大学、山形大学、琉球大学、早稲田大学

2. 会議内容

1 日目：11 月 18 日(金) 那覇市ぶんかテンプス館 会議室 1・2

14:30-：受付開始

15:00-15:05：開会挨拶

15:05-16:35：ポスターセッション

16:40-17:00：2 日目のワークショップの説明

17:00-18:30：懇親会

2 日目：11 月 19 日(土) 沖縄県立博物館・美術館 講堂

9:15-：受付

9:30-10:15：Student Branch 運営セミナー

10:15-12:30：ワークショップ

3. 1 日目

14:30-：受付開始



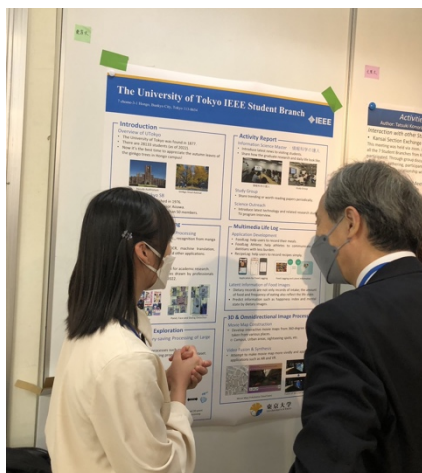
那覇市ぶんかテンプス館の会議室で行われました。3年ぶりの対面の開催ということもあり、会場に入ると持参した活動報告のポスターを壁に貼って準備している大学や他大学と談笑している大学が目に入り、活気に満ちていました。会場に着くと飲料水と IEEE SYWL T シャツが配布され、早速 IEEE SYWL T シャツを着ている大学も見受けられました。中にはかりゆしウェアを着ている学生やご当地 T シャツを着ている学生もいて、多くの学生が沖縄での開催を楽しんでいるように見受けられました。

15:00-15:05：開会挨拶



教職員の皆様から挨拶がありました。挨拶は笑顔に満ち溢れ、教職員の皆様も対面での開催に多いに喜んでいることを感じました。

15:05-16:35 : ポスターセッション



Student Branch の活動や参加している学生の研究内容、コロナ後にやってみたい活動を記載したポスターを前半、後半に分かれて発表しました。

コロナ禍で活動に制限がかかっているにも関わらず、近隣大学の Student Branch とオンラインで活動をしている Student Branch やオンラインを活用して積極的に説明会を開き、新規会員募集を行うことで大学内での Student Branch の認知度を高めようとしている Student Branch を多く見聞きました。特に学部生の研究室訪問の際に新規会員募集を呼びかけることで、学部生の研究室配属と共に入会させるという Student Branch のやり方は大変参考になりました。

研究内容では土地やキャンパスの数、大学の特色を活かしたその大学ならではの研究が多く見受けられ、大変興味深かったです。また近しい研究をしている学生同士でディスカッションを行なっている場面も見受けられました。

コロナ後にやってみたい活動としては対面で近隣大学の Student Branch と共にイベントを開催したいという Student Branch や学内でイベントを開催したいという Student Branch を多く見聞きました。

16:40-17:00 : 2 日目のワークショップの説明

2 日目のワークショップのチーム決めやワークショップのお題について発表されました。チーム内に同じブランチ出身の人がいないよう 5 人 1 チームで構成され、全部で 9 チームありました。ワークショップのお題は地方創生、Student Branch 創生、離島創生の 3 つのうち 1 つ選んで取り組みます。

17:00-18:30：懇親会



懇親会にも多くの学生が参加し、沖縄ならではの食べ物や飲み物を堪能しました。また時間の都合上ポスター発表の聞くことのできなかった **Student Branch** の話を聞く学生やポスター発表で聞いた話を深掘りしている学生、今後の活動のために連絡先を交換している学生を多く見受けられました。



また東京農工大学と中央大学の **Student Branch** が設立 10 周年を迎え、記念の盾を頂きました。

4. 2 日目

9:15-：受付

沖縄県立博物館・美術館の講堂で行われました。昨日の懇親会で打ち解けたこともあり、会場に入ると多くの学生が既に談笑しておりました。本日の催しを楽しみにしているとともに本日で終わってしまうことを嘆いている学生の姿が見受けられました。

9:30-10:15：Student Branch 運営セミナー



Student Branch を運営していくための条件や活動支援の金額についての説明がありました。今後 Student Branch をより良い組織とするためにも学生は真剣な眼差しで話を聞いている姿が見受けられました。

10:15-12:30：ワークショップ



昨日決めたチームごとに分かれ、お題を選び、お題に対してチームでアイデア出しや話し合いを行いました。チームによっては沖縄県立博物館・美術館の開放的な広場にてアイデア出しを行っているチームも見受けられました。



発表順は決まっていませんでしたが、それぞれのチームが率先して発表していました。多くのチームが発表に寸劇を交えることで、ユニークでユーモアのある発表をしていました。発表までの準備時間が短かったにもかかわらず、スライド作成や寸劇の段取りなどチーム内で協力して準備していたことが伝わりました。



5. 参加して思ったこと・感じたこと

SBLTWに参加し、私はコロナ禍で活動に制限があったにもかかわらず各々の Student Branch が工夫することで活動を維持させていたことを感じました。対面で円滑な質疑応答をしやすいという利点もあり、他の大学の研究内容や研究室での姿勢に対して深く理解をすることができ、刺激をもらう場面もありました。また同じ研究分野を研究しているが、地域的に普段は知り合うことができないような人と連絡先を交換できたことで今後の研究にプラスに働くこともあるのではないかと感じました。そして何よりも、多くの Student Branch がコロナ後にやってみたい活動として大学間を超えたイベントの開催をしたい、Student Branch の活動を更に活性化させたいと話しておりました。そのための繋がりや相談できる相手を今回の SBLTW では築くことができたのではないかと感じます。今年度 SBLTW に参加し受けた刺激や反省、更に工夫できる点を整理し、今後の活動に繋げ発展させていきたいです。また来年度皆さまに元気な姿でお会いできることを大変楽しみにしております。